

科目名		呼吸器内科学特論	
科目責任者	矢 寺 和 博	(呼吸器内科学 教授)	
担当者	川 波 敏 則	(呼吸器内科学 准教授)	
担当者	山 崎 啓	(呼吸器内科学 講師)	
開講時期:	1～2年次	単位数:	6 単位
		時間数:	90分× 45 回
<p>● 科目の教育目標</p> <p>一般目標 (GIO)</p> <p>呼吸器系は常に外界と接し、環境や職業、生活習慣の影響を受けやすい臓器である。呼吸器系の解剖と生理、防御機能を正しく理解し、疾病の発生機序を学ぶ。呼吸疾患の特徴と病態を理解し、診断法を身につける。呼吸器疾患の特徴に応じた治療と予防、原因と病態を理解し、新たな診断、治療を考案する。</p> <p>行動目標 (SBOs)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 呼吸器系の解剖を理解し、説明できる。</li> <li>2) 呼吸器生理を理解し、説明できる。</li> <li>3) 呼吸器検査法 (X線検査法) について説明できる。</li> <li>4) 呼吸器検査法 (呼吸器内視鏡検査) について説明できる。</li> <li>5) 呼吸生理機能検査 (spirometry、IOS) について説明できる。</li> <li>6) 肺炎の疫学、病態生理、原因菌、合併症、治療について説明できる。</li> <li>7) 肺真菌症の成因、病態生理、原因菌、治療について説明できる。</li> <li>8) 気管支喘息の疫学、成因、診断、治療について説明できる。</li> <li>9) COPDの疫学、成因、診断、治療について説明できる。</li> <li>10) 間質性肺炎の疫学、病因、診断、治療、予後について説明できる。</li> <li>11) 原発性肺癌の疫学、診断、治療、予後、分子標的治療薬、免疫療法について説明できる。</li> <li>12) 職業性肺疾患の疫学、病因、診断、治療、予後について説明できる。</li> <li>13) 急性呼吸不全の疫学、病態生理、治療、予後について説明できる。</li> <li>14) 喫煙の影響、禁煙の意義、禁煙指導方法、禁煙治療薬について説明できる。</li> <li>15) 臨床研究の倫理、デザイン、データ集積、統計学的解析を理解する。</li> </ol>			
● 評価方法	<p>検討会でのプレゼンテーション内容 40%、討議への参加度・積極性 30%、課題レポート 20%で総合的に評価する。</p>		
● 参考文献	<p>講義の中で必要に応じて紹介する。</p>		

授 業 項 目 (内 容)
呼吸器系(気管、気管支、肺)の解剖と防御機能
呼吸器系(気管、気管支、肺)の生理、呼吸機能検査
肺炎の疫学、診断、治療
慢性下気道感染症の疫学、診断、治療
肺真菌症の疫学、診断、治療
気管支喘息の疫学、診断、治療
COPDの疫学、診断、治療
間質性肺炎の最新の知見、治療
原発性肺癌の疫学、診断、治療
原発性肺癌の最新の分子標的治療・免疫療法
急性呼吸不全の病態生理
肺と環境(職業性肺疾患)
臨床検査・X線検査法
呼吸器内視鏡検査法
禁煙指導